

**地域公共交通確保維持改善事業費補助金
(自動運転社会実装推進事業) 間接補助事業者 提案書 (運行あり)**

【記入にあたっての留意点】

- 本様式は、本補助事業で自動運転車両の運行を伴う事業を実施する場合にご記入ください。
- 様式 2 は、本様式に沿って作成してください。別の形式での作成 (PowerPoint での作成や、本様式の設定項目に従わないもの) は認められません。
- 各項目の※書き及び表中の記載例は削除したうえで提出してください。
- フォントは原則 MS ゴシック、11 ポイント以上としますが、図表中の文字等についてはこれに限られません。
- 文字数の制限等は設けておりませんが、各項目の※書きに従い要点を簡潔に記載してください。
- 各項目は、必要に応じて記入枠の大きさの調整や行の追加を行ってください。
- データ等を引用する場合は、出典を明記してください

1. 事業実施の背景・最終目標	
1-1. 事業実施の 背景・目的	※本事業を通じて、解決を目指す地域課題並びにその課題を設定した背景・目的について簡潔に記載してください。
1-2. 最終目標・ 構想イメージ	※本事業にて想定する成果も踏まえて、最終的に達成を目指す目標、構想のイメージについて記載してください。

<p>1-3. 地域公共交通計画等</p>	<p>■ 地域公共交通計画</p> <p>※地域公共交通計画において自動運転の活用を定めている場合、計画における該当箇所を抜粋し、活用方針を記載してください。 (計画の URL を添付し、該当章・ページを記載する形でも構いません)</p> <p>※地域公共交通計画にて自動運転の活用を定める予定がある場合、現時点で記載予定の内容について記載してください。</p> <p>■ その他計画</p> <p>※その他自治体が定める各種計画において自動運転を位置付けている場合、参考資料を提示してください。</p>
<p>1-4. 施策間連携</p>	<p>■ デジ活中山間地域（農林水産省）</p> <p>※中山間地域等を含む地域であり、農林水産分野と連携し、自動運転技術を活用して地域を活性化させていく取り組みを推進予定の場合は、取り組み内容について記載してください。（本事業の公募に合わせて「デジ活」中山間地域に係るチェックシートを提出予定の事業者のみ記載してください。）</p> <p>※既に「デジ活」中山間地域に登録されている場合は、登録時に合わせて申請を行った事業名と共に、その取り組み内容を記載してください。</p> <p>■ 上記以外の DX・GX の取組で本事業との関連が認められる施策</p> <p>※また、本事業と関連する DX・GX の取組の実施予定について記載してください。</p>

2. 事業内容

2-1
運行場所

■ 2-1-1. 運行場所

※自動運転車両の運行ルートについて、当該ルートの選定理由(利用者からのニーズ等)についても触れながら、地図等を活用して記載してください。

※運行区間ごとの実際の自動運転レベルについても地図内に記載してください。具体的には、「手動操作」「原則、自動運転(必要に応じて手動操作)」等を運行ルート上に記載してください。

※将来的にレベル4運行を実施予定の区間について、地図内に明記してください。

※運行ルート上に設置予定のインフラ設備(信号連携、スマートポール等)についても地図内に明記してください。

■ 2-1-2. インフラ設備

設備種類	実施有無	主な設置箇所
信号連携	有/無	(例) XXX 道路沿いの3箇所に設置
スマートポール	有/無	
磁気マーカー	有/無	
その他	※列は自由追加 有/無	

■ 2-1-3. リスクアセスメントの方針

※本事業ではリスクアセスメントを通じて、運行ルート上の危険箇所における評価・対策を実施いただきます。

※なお、昨年度の同事業でリスクアセスメントを実施している事業者においては、車両や走行環境等に変更がない場合、再度リスクアセスメントを実施いただく必要はありません。ただし、その場合も、昨年度の実施内容を以下の表に記載してください。

項目	内容
実施有無 (今年度事業)	有/無
事業者	※リスクアセスメントの実施主体を記載してください
現状分析	※運行ルートにおける危険箇所と対策について、現時点で想定する内容を記載してください。(車両・走行環境に起因する危険等) ※通常の場合だけでなく、緊急時(トラブル・災害等)や異常時(機器故障等)のケースも含めて記載してください。

※令和6年度（2024年4月1日～2025年3月31日）の同地域における全ての運行を対象として「運行期間」・「運行日数」について記載してください。

※準備運行・関係者試乗運行・一般運行の運行別としてください

運行内容	運行期間	運行日数
準備運行	●月●日～○月○日 ※○曜除く	日間
関係者試乗運行		日間
一般運行		日間
その他運行	※その他運行がございましたら、追記ください。	日間

2-2.
運行期間

※本事業の予算を活用した運行のみを対象として「運行期間」・「運行日数」について記載してください。（準備運行・関係者試乗運行・一般運行の区分けあり）

運行内容	運行期間	運行日数
準備運行	●月●日～○月○日 ※○曜除く	日間
関係者試乗運行		日間
一般運行		日間
その他運行	※その他運行がございましたら、追記ください。	日間

2-3.
運行時間帯・
頻度

※自動運転車両の運行時間帯・頻度について記載してください。

2-4.
運行方式

※定時定路線・オンデマンド等、運行方式について記載してください。
（複数の運行方式を検討されている場合は列挙）

2-5.
運行体制・
緊急時の体制

■ 2-5-1. 運行体制

※運行体制について、以下の表に記載してください。

項目		内容
運行主体		※移動サービスの運行主体について記載してください。 (ドライバー業務の実施者ではなく、交通事業の運営者が対象となります)
運転手	事業者	※運転手業務の実施主体を記載してください
保安員 (※運転手以外で運行の安全のために配置する人員)	事業者	※保安員業務の実施主体を記載してください
	オペレーション	※業務内容を記載
遠隔監視設備	種類・ベンダー	※遠隔監視に用いられる設備・システムの種類、ベンダーを記載
	機能	※遠隔地から車両に指示できる操作内容、車両から受信するデータを記載
遠隔監視員	事業者	※監視業務の実施主体を記載してください
	オペレーション	※業務内容を記載

■ 2-5-2. 緊急時の体制

※緊急時の体制について、下表を記載してください。

項目	内容
緊急時対応スタッフ	※人数・それぞれの役割について記載
緊急時のオペレーション	※緊急時の対応の流れ・外部機関との連携等について記載

➤ 関連する写真・イメージ（緊急時の連絡フロー等）

2-6.
運行車両

※運行予定の自動運転車両について、本事業における補助対象外の車両も含めて、調達形態別に記載してください。

※システムベンダーには、自動運転システムに係るベンダーを記載してください。

調達形態	車両名	システムベンダー※	台数	補助対象有無
新規購入			台	対象/対象外
			台	対象/対象外
リース			台	対象/対象外
			台	対象/対象外
既保有車両			台	—
			台	—

2-7.
自動運転車両
の特徴

■ 自動運転車両の特徴

※インフラ連携等、走行環境も含めた機能ではなく、車両単体における機能・特徴について記載してください。

※運行予定の車種が複数ある場合は、車種ごとに以下の表を作成してください。

項目		内容		
車両 スペック	車両名			
	乗車定員		人	
	自動運転時の定員		人	
	最高 速度	車両性能		Km/h
		自動運転時		Km/h
	セン シン グ	LiDAR		個
		ミリ波 レーダー		個
		カメラ		個
	その他装備			
天候		※走行可能な天候条件を記載してください		

保有機能	照度		※走行可能な照度を記載してください	
	自転車操作	車線変更	可/不可	(人的介入を要する場合は不可を選択) ※機能への補足を記載してください
		障害物回避	可/不可	(人的介入を要する場合は不可を選択) ※機能への補足を記載してください
	白線認識		可/不可	※機能への補足を記載してください
	標識認識		可/不可	※機能への補足を記載してください
	信号認識		可/不可	※車両単体の灯色検知の可不可を選択してください ※機能への補足を記載してください
	MRM※			
その他特徴等				

※MRM(ミニマム・リスク・マヌーバ)：システムから運転を引き継がない時、安全に車両を停止させる機能

➤ 関連する写真・イメージ等

※車両全体が写っている写真を記載してください。

※車種が複数ある場合は車種ごとに記載してください。

■ 2-8-1. 事業性

※2024年度の収支構成及び2025年度以降の収支計画について、(様式2別紙)中長期収支計画への記載してください。

※(様式2別紙)中長期収支計画に基づき、自動運転事業における収入拡大策・支出削減策・事業費確保策を記載してください。

※収入拡大策を記載してください。

2-8.
経営面における特徴

項目	内容
収入拡大策	<p>※別紙の中長期収支計画の「年間収入」の費目を対象に収入拡大策について記載してください。</p> <p>※サービス収入は以下費目を含みます。 (運賃収入・法人利用料・協賛金・広告収入・視察収入・貨客混載等)</p>

※支出削減策を記載してください。

項目	内容
支出削減策	※別紙の中長期収支計画の「年間支出」の費目を対象に支出削減策について記載してください。 ※以下が想定される支出削減策となります。 (運転手の無人化・バックオフィス機能(遠隔監視等)の集約による労務費の低減、自動運転技術向上に伴う保険料・現場対応費(労務費・レッカー費用の削減等)

※事業費確保策を記載してください。

項目		内容
事業費確保	考え方	※別紙の中長期収支計画において、「年間収入」と「年間支出」の収支が赤字となる見込みの期間がある場合は、「事業費確保」の費目も含めて支出額を補填するための方策を検討してください。 ※事業費確保は以下費目を含みます。 (補助金・自治体予算(ふるさと納税)・その他事業者負担等)
	確保有無	確保済み/確保予定/確保予定なし
	確保額	<div style="border-bottom: 1px dashed black; width: 100%;"></div> 円

■ 2-8-2. 移動以外の効果

※経済的波及効果や交通以外の分野における公的負担額の軽減等による持続可能性の向上を視野に入れている場合は、検討内容(定量化の方法等)を記載してください。

■ 2-8-3. 波及性

※他の地域においても参考となる、波及性のあるモデルとなり得る場合、その特徴を記載してください。

--	--

2-9.
技術面に
おける特徴

■ 2-9-1. レベル4 運行に係る許認可取得

※2024 年度における走行環境条件付与の申請予定の有無について回答してください。
※2024 年度中の申請予定の有無に関わらず、申請予定年月・調整状況を記載してください。

項目	走行環境条件付与(道路運送車両法)
2024 年度における申請予定の有無	有/無
申請予定年月	XX 年 XX 月
調整状況	※走行環境条件付与の申請に向けた、関係者との調整状況(申請までの計画策定等)について記載してください

■ 2-9-2. レベル4 運行に向けた課題・対策

※前項で「有」と回答した場合はレベル4 として申請予定の区間について、「無」と回答した場合は、将来的にレベル4 を目指す区間について、地図等も活用しながら記載してください。(「2-1. 運行場所」の再掲でも構いません。)
※当該区間について、想定される課題及び対策について記載してください。特定区間でのみ課題が生じる場合は、地図上で該当区間を課題の番号(#列)で図示してください。
※特に車両技術のみでのレベル4 運行が困難であると考えられる区間がある場合、走行環境やオペレーション等による対策について記載してください。

#	課題	対策	対応完了時期
1			
2			

■ 2-9-3. 安全性

※乗客、周辺歩行者及び車両の安全性確保の観点での、車両や運行サービス、遠隔監視体制等における特徴について記載してください。

2-10.
社会受容性面
における
特徴

■2-10-1. 認知拡大・理解促進

※地域住民や交通参加者等を対象に、事業の認知拡大や、走行特性・安全性等の理解促進の計画がある場合は、その施策について記載してください。

※地域住民や交通参加者等を対象に、走行環境の構築・維持に向けた合意形成を図る計画がある場合は、その施策について記載してください。

■2-10-2. 利用機会の創出

※通年運行(年間を通した運行)の実施状況について、以下の表に記載してください。

※「実施予定」の場合は、開始時期は見込みを記載してください。

項目	実施状況	開始時期
通年運行	実施中／実施予定／実施予定なし	XX年X月～

※その他、周辺交通との連携等、移動サービスの利用促進に向けた計画がある場合は計画内容を記載してください。

※本事業における検証項目(実施方法)・目標値・目標の設定根拠について記載してください。(目標値は可能な限り定量的に記載してください)

2-11.
検証項目

検証 テーマ	検証項目 ※実施方法	目標値	目標の設定根拠
経営面	・(自由記入) ※実施方法:	・(自由記入)	・(自由記入)
	・	・	・
技術面	・(自由記入) ※実施方法:	・(自由記入)	・(自由記入)
	・	・	・
社会受 容性面	・(自由記入) ※実施方法:	・(自由記入)	・(自由記入)
		・	・

3. 実施体制

3-1. 実施体制図

※本事業の実施体制図を下記の図を参考に作成してください。
 ※また、調整中の参加団体・外注先・協力団体がある場合は、その旨が分かるように参画状況の列に「未確定」と記載してください。
 ※(様式第1)応募申請書にてコンソーシアム組成を「無」と回答している場合、参加団体の枠と、補助事業者の枠を削除の上、作成してください。



3-2. 参画団体・役割

※本事業に参画する各団体・組織の役割を簡潔に記載してください。

No.	分類	参画状況	団体名	役割
—	代表団体	確定	●●●	事業全体の企画、進捗管理、成果測定等
①	参加団体	確定	株式会社■	高精度 3DMap の製作支援
②	業務委託・外注先	確定	株式会社△△	自動運転車両の改造
③	業務委託・外注先	確定	〇〇株式会社	自動運転車両の運行
④	協力団体	未確定	〇〇市	実証実験場所の提供

※参画が未確定の団体が存在する場合、事業実施期間中に体制を整備するうえでの計画を記載してください。

3-3. 事業実績

※代表団体(地方公共団体)が自動運転に係る事業実績を有する場合は、事業名、事業概要、実施年度等を簡潔に記載してください。

4. 実施スケジュール

※事業実施期間における体制構築～成果報告までのスケジュールについて、以下の図を参考に作成してください。

※あわせて、スケジュール策定に係るポイントについて記載してください

※2-9-1. レベル4 運行に係る許認可取得(2. 事業内容>>2-9. 技術面における特徴)にて、今年度中に走行環境条件付与申請の予定を「有」と回答した事業者については、「3. 走行環境条件付与」のスケジュールを記載してください。(「無」と回答した事業者については、項目を削除いただいて構いません)

■ 実施スケジュール

以下の図を参考にスケジュールを記載してください。

大項目	小項目	24年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	25年 1月	2月
1. 体制構築	・参加事業者連絡 /キックオフ	→								
	・									
2. 運行準備	・車両改造等		→							
	・運行ルート策定 等		→							
	・リスクアセスメント			→						
	・									
3. 走行環境条件 付与の申請	・公道走行WG準備		→							
	・第一回 公道走行WG			→						
	・...									
	・許認可取得						→			
4. 運行実施	・自動運転運行実 施/検証									→
	・									
5. 結果取り纏め	・検証結果の取り 纏め									→
	・									
6. 成果報告	・報告書作成/報 告会準備									→
	・									

5. 事業の発展性

※今後の自動運転事業におけるロードマップとして以下の表を作成し、今後の事業計画について簡潔に記載してください。
 ※複数の事業モデルの展開を予定している場合は、事業モデル毎にロードマップを作成してください。
 ※以下の表を記載したうえで、事業者独自のロードマップを作成している場合は本項目にて引用してください。

■ ロードマップ

項目	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
運行台数					
運行エリア					
運行方式					
レベル4 運行* ¹	○/ー	○/ー	○/ー	○/ー	○/ー
運賃	有償・無償	有償・無償	有償・無償	有償・無償	有償・無償
運転手	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無
保安員	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無
遠隔 監視員	有/無	有/無	有/無	有/無	有/無
遠隔監視 体制* ²	N:N	N:N	N:N	N:N	N:N

*¹ : 特定自動運行による運行(一部区間も可)の有無をもって回答してください。
 *² : 1 拠点における遠隔監視員の人数 : 監視対象の車両台数の比率を記載してください。(複数地域・事業で1 拠点を活用するケースも可)

5-1.
ロードマップ
・体制

5-2.
実装時の
運行場所
(運行ルート)

※実装時の運行ルートについて、当該ルートの選定理由(利用者からのニーズ等)についても触れながら、地図等を活用して記載してください。

※運行区間ごとの実際の自動運転レベルについても地図内に記載してください。具体的には、「手動操作」「手動操作の想定無し」「原則、自動運転(必要に応じて手動操作)」等を運行ルート上に記載してください。

※運行ルート上にインフラ設備(信号連携、スマートポール等)を設置予定の場合は、地図内に明記してください。

※本事業と実装時の運行ルートが同一の場合は、「2-1. 運行場所」にて記載した内容を再掲してください。

5-3.
情報公開
可否について

※公募要領の(7)調査への協力(IV. 応募手続>>6. 応募にあたっての留意事項)に記載の通り、本様式に記載いただいた内容は事業者間の連携の推進、政策効果検証等に使用することを目的として、個社情報が特定されないように処理した上で公開する場合があります。

※本様式の記載内容のうち、公開不可の内容がある場合は、以下の表にて該当項目及び公開不可の事由について記載してください。

#	公開不可項目	事由
1	(例) 5-1. ロードマップ・体制	(例) 現時点で未確定の計画であり、今後も変更が生じる可能性があるため
2		

以上